

制御棒案内管の製作に係るコメント一覧

日付	No.	コメント内容	回答
2020/1/24	1	制御棒案内管の製作は運転再開に向けて必須の事項か。	必須ではないため、現在の状況に合わせスケジュールを改める。
2020/1/24	2	旧文部科学省原子力規制室へ申請されたものであるため、なぜこれまで審査されてこなかったのか経緯が不明確である。	審査経緯を資料R3-223-1で示す。
2020/1/24	3	申請されてから現在に至るまでの間に規制側の組織が変わったため、当初申請の補正となるのか、又は一度申請を取り下げ再申請とするのか規制庁内で確認し、連絡する。	当初申請の補正とする旨の連絡を受けたため、R2.2.6に補正を提出。
2020/3/5	4	制御棒案内管の製作期間等スケジュールを示すこと。	今後のスケジュールを資料R3-223-1中に記載する。
2020/3/5	5	構成部材が図のどの部分に当たるのか分かるようにすること。	資料R3-223-2図中に追記する。
2020/3/5	6	関係する技術基準のうち、適合性の説明を除外したものについて、詳細な説明を行うこと。	資料R3-223-3に適合性を示す。
2020/3/5	7	技術基準への適合性のうち、過去の設工認で認可済みの部分について、どこを参照しているか説明すること。	資料R3-223-3中に示す。
2020/3/5	8	申請内容は制作までとしているが、交換に関しても使用前検査が必要なのではないか。	資料R3-223-4に交換作業に対する考え方を示す。
2020/3/5	9	申請書で示した適合性のうち、今回新たに審査が必要な部分がどこであるか分かるようにすること。	資料R3-223-3に新規要求事項と適合性説明の必要性をまとめる。
2020/11/11	10	制御棒案内管の製作期間と交換予定時期を説明すること。	R2.11.11ヒアリング資料R3-225-4 R2.11.18ヒアリング資料R3-227-2
2020/11/11	11	制御棒案内管について、写真等があれば示すこと。	R2.11.18ヒアリング資料R3-227-3
2020/11/18	12	制御棒案内管に製作公差が記載されているが、公差と挿入性の関係を説明すること。	R3.2.15ヒアリング資料R3-設（案内管）-1-2
2020/11/18	13	技術基準規則への適合性の説明については、説明の要否によりわかりやすくカテゴリ分けをし、説明すること。	R3.2.15ヒアリング資料R3-設（案内管）-1-3
2021/2/15	14	補正内容を簡潔にまとめた概要資料について、どのような補正を行うのか具体的に記載すること。	ヒアリング資料R3-設（案内管）-2-1のとおり。
2021/2/15	15	今回製作するものが既設の設計と同一のものであることを示す資料を提出すること。	ヒアリング資料R3-設（案内管）-2-2に示す。
2021/2/15	16	JISで呼び出している材料名がその1 1のものと異なるが、違いを説明すること。	ヒアリング資料R3-設（案内管）-2-3に示す。
2021/2/15	17	その1 1の申請内容と比較すると、耐震計算書に不足があるように見受けられるが、考え方を説明すること。	ヒアリング資料R3-設（案内管）-2-2に示す。
2021/2/19	18	ヒアリング資料R3-設（案内管）-1-4について、P.1及びP.5以降は削除すること。	ヒアリング資料R3-設（案内管）-2-4のとおり。
2021/2/19	19	概要に、申請の経緯を記載すること。	ヒアリング資料R3-設（案内管）-2-4のとおり。
2021/2/19	20	設計に「S61.8.20から変更していないこと、耐震重要度分類：Sクラス、安全上の機能別重要度：PS-2」を記載して下さい。	ヒアリング資料R3-設（案内管）-2-4のとおり。
2021/2/19	21	設計に、S61.8.20以降の技術基準規則の改正内容に対して、制御棒案内管が該当しない一覧表を追加して下さい。	ヒアリング資料R3-設（案内管）-2-4のとおり。
2021/2/19	22	工事の方法「工事上の留意事項」のなお書きの意図がわからないため、記載を見直すこと。	ヒアリング資料R3-設（案内管）-2-4のとおり。
2021/3/4	23	技術基準第12条第3項に規定する監視試験片について言及があるので、監視試験片を設置する目的と監視対象、試験計画を説明すること。	ヒアリング資料R3-設（案内管）-3-1のとおり。
2021/3/4	24	・制御棒案内管の鉛直地震動に対する浮き上がりの有無の評価及び浮き上がり防止設計について説明すること。 ・制御棒案内管に生じる応力として、第一パッド部（評価点A）及びプレナム中央部（評価点B）のみで評価しているが、根元の受座部分の曲げやせん断は評価しているのか。 ・制御棒案内管を固定する制御棒案内管受座の耐震設計について説明すること。	ヒアリング資料R3-設（案内管）-3-2のとおり。
2021/3/4	25	・予備品の取替工事を、保安規定上どのように位置付けているのかについて説明すること。 ・過去の交換実績はあるのか。その時の検査の考え方について説明すること。 ・本件予備品の据付工事として、具体的にどのような作業や確認が発生するのかについて説明すること。	ヒアリング資料R3-設（案内管）-3-3のとおり。
2021/3/9	26	JRR-3原子炉施設における予備品の扱いについて ・「予め交換等が予測される設備機器については予備品を準備し、」とあるので、予備品を準備すべき設備がどこで決まっているのかを示すこと。 ・平成23年の制御棒案内管交換の性能確認（外観確認、動作試験）は自主で実施したということか。 ・上記検査は、今の検査制度であれば、2号検査として位置付けられると考えられますが、これを「該当なし」として自主で良いとする説明をすること。	ヒアリング資料R3-設（案内管）-3-3のとおり。

日付		No.	コメント内容	回答
2021/3/9	コメント	27	JRR-3の監視試験片について ・制御棒案内管のどのあたりに取り付けられているか説明すること。	ヒアリング資料R3-設（案内管）-3-1のとおり。
2021/3/9	コメント	28	制御棒案内管に係る耐震設計について ・浮き上がり防止について、バネは強度負担していない、ということか。また、浮力を考慮したとしても、鉛直地震力で浮き上がらないという理解か。 ・受座は十分な剛性があるので固定点として扱っている、とのことですが、受座の固定ボルトについても、基準地震動による地震力に対する評価はされているのか。	ヒアリング資料R3-設（案内管）-3-2のとおり。
2021/3/11	コメント	29	制御棒案内管の寸法について、長さ、厚さ、内径、外径の有効数字が異なっているが、考え方を説明すること。	ヒアリング資料R3-設（案内管）-3-4のとおり。
2021/3/11	コメント	30	本申請にて定めている公差とJIS規格の比較を示すこと。	ヒアリング資料R3-設（案内管）-3-4のとおり。